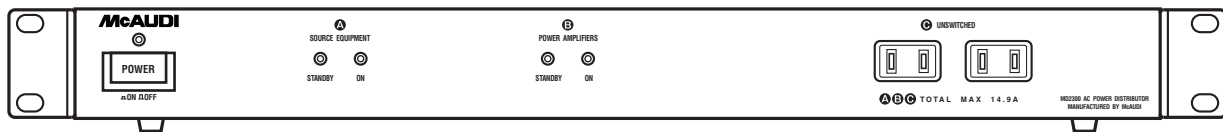


McAUDI®

AC POWER DISTRIBUTOR

MD2300

取扱説明書



目次

安全にお使いいただくために	3, 4, 5	外形図	16
各部の名称と働き	6, 7, 8	主な仕様	17
接続	9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	アフターサービス	18
接続例	9	保証規定	18
スタック使用する	10, 11, 12	製品保証書	19
遠隔操作で電源を入 / 切する	13		
I / O端子の使用例	14		
非常用放送設備の接続例	15		

はじめに

この度は MD2300 AC パワーディストリビューターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよくお読みいただき、本製品を末永くご愛用ください。お読みになった後は、いつでも見られるところに製品の保証書と一緒に本書を大切に保管してください。なお、本製品は厳重な品質管理のもとに製造いたしておりますが、お買い上げ後お気づきの点がございましたら、お早めにお買い上げいただいた販売店または弊社サービス係までお問い合わせください。

- 本書の内容については万全を期して作成しております。万一、記載内容に誤りなどお気づきの点がございましたら大変お手数ですが、弊社までご連絡をいただければ幸いです。
- 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は将来予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

主な特長

本製品は、本機の POWER スイッチに連動して電源を供給する 4 個のソース機器用の電源コンセント **A 系統** 及び 2 個のパワーアンプ用の電源コンセント **B 系統** を装備しております。

A 系統、**B 系統** の電源コンセントに接続した機器の電源は、本機の POWER スイッチで一括して入 / 切できます。

また、本機の POWER スイッチに連動しないで常時電源供給することが可能な 4 個の非連動の電源コンセントや多様なシステム構成を可能にする、パワーコントロール端子を装備した AC パワーディストリビューターです。

電源 ON/OFF 時の電源ノイズの影響からスピーカーへのダメージを軽減させる、ディレイ回路を搭載

従来はスピーカーを保護するために、機器の電源スイッチを入 / 切する際には配慮が必要でした。本機ディストリビューターを使用することで、どなたでも容易にシステム全体の電源コントロールが可能となります。

多様なシステム構成を可能にするパワーコントロール端子を装備

- ① 外部のシステムコントローラーから本機をリモートコントロールできます。
- ② 本機を最大 10 台接続して、機器の電源供給を連動してコントロール (ON/OFF) できます。
- ③ 本機の 1 台目を親機、2 台目以降を子機として使用することにより、親機の POWER スイッチ操作のみで機器の電源供給を一括コントロール (ON/OFF) できます。
- ④ 非常放送が入ると本機の電源供給をカットさせる、EMG / エマージェンシー入力端子を装備しています。

本機を安全に使用するためのサーキットブレーカー搭載

本機の供給能力を超えた電流が一定以上流れ続けると、安全のために電源供給をカットして本機を保護します。

EIA19 インチ標準ラックマウントに対応

本機にはラックマウント金具が標準で付いていますので、この規格のラックにピッタリ収納ができます。ラックマウント金具は取り外しが可能なので、一般のオーディオラックにもすっきり収納ができます。

安全にお使いいただくために



注意

正しくお使いいただくために、以下の事項を守ること

- ご使用前に必ず『取扱説明書』をよくお読みください。
- 水、湿気、湯気、油煙などの多い場所に設置して使用しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。
- 動作が不安定になる、キャビネットや電源コードが破損している、などの症状が見られた場合には、すぐに製品のご使用を中止し、お買い上げ店、または弊社サービス係に修理をご依頼ください。



注意

最大定格電流“14.9 アンペア”以下で使用する

本機の最大定格電流は 14.9 アンペア（最大定格電力 1490 ワット）です。
1 個の AC コンセントからそれぞれ最大定格電流まで取り出すことができます。
ただし、複数の AC コンセントを使用する場合は、合計電流が 14.9 アンペアとなります。
本機のコンセントに接続した機器の消費電流の合計が、14.9 アンペアを超えていないことを確認してください。

A系統 コンセント	+	B系統 コンセント	+	C系統 コンセント	=	合計(最大定格電流) 14.9アンペア
--------------	---	--------------	---	--------------	---	------------------------



注意

注意電源投入時に瞬間的に定格容量を超える機器の使用について

プラズマディスプレイなど、投入時に瞬間的に定格容量を大きく超えて電流が流れる機器を本機のコンセントに接続して使用すると、サーキットブレーカーや電源制御用リレーの故障の原因となりますので、ご注意ください。

定期点検のおすすめ





製品を長期間安全にお使いいただくために、定期点検の実施をおすすめします。
設置時や一年に一度は、電源コードの状態（コンセントと電源プラグの間にホコリが付いていないか、電源プラグが確実に差し込まれているか）などを確認を行なってください。
なお、有償による内部点検も承っております。詳しいことは、お買い上げ店、または弊社サービス係にご相談ください。

安全にお使いいただくために



警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大ケガなどの人身事故の原因となります。

 電源プラグをコンセントから抜く	<p>万が一異常が起きたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●煙が出たり、変なおいや音がする。 ●機器の内部に異物や水などが入った。 ●本機を落としたり、キャビネットを破損した、など。 <p>このような状況の時には、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に点検、修理をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない。</p> <p>本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードが傷んだまま、機器を使用しない。</p> <p>以下の行為は絶対にしないでください。コードが破損した状態で使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを傷つけること。 ●電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにする。 ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりすること。 <p>万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。</p>
	<p>電源プラグにほこりをためない。</p> <p>電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いてください。</p>
	<p>本体の上や近くに液体などが入った容器を置かない。</p> <p>内部に水、薬品などの液体が入ると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>高温、多湿になる場所に設置しない。このような場所では使用しない。</p> <p>湿気、ほこり、油煙、湯気の多い場所や、高温になる場所に設置して使用しないでください。またこのような場所での保管は避けてください。接触不良、絶縁不良などにより火災や感電の原因となります。</p>
	<p>強い衝撃を与えない。</p> <p>高い所から落とす、物をおつけるなどの強い衝撃を与えると、本機の損傷や故障の原因となります。あるいは落下したものが人体に当たった場合、大ケガの原因となることがありますので、強い衝撃を与えないでください。</p>
 接触禁止	<p>乳幼児に触れさせない。</p> <p>乳幼児の手の届かないところに本機を設置してください。落下して人体に当たった場合、大ケガの原因となります。またコンセント部分に金属片などが入るなどした場合、火災や感電の原因となることがあります。なお本機のコントロール端子には小さなショート金具を使用しているため、ケガや誤飲などの危険があるため、乳幼児が触れることがない環境で使用・保管してください。</p> <p>雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
 分解禁止	<p>キャビネットは絶対に外さない。絶対に改造しない。</p> <p>キャビネットを開けて改造すると、火災・感電の原因となりますので、絶対におやめください。内部の点検、修理の際は、必ず販売店にご依頼ください。</p>

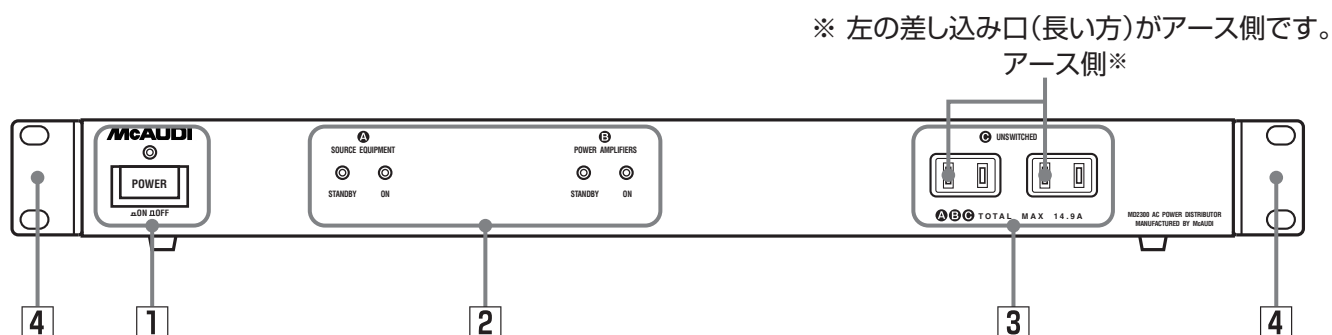
安全にお使いいただくために



注意 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、ケガをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

 ぬれ手禁止	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となることがあります。</p>
 強制	<p>それぞれの機器の取扱説明書の指示に従って接続する。 本機のコンセントに接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、指示に従って接続してください。接続に使用する電源コードは、指定以外のものを使用すると、故障、火災・感電の原因となります。</p> <p>音響システムの音量を最小にしておく。 本機の電源スイッチを入れる前に、音響システムの音量を最小にしておいてください。電源ノイズの影響によってスピーカーから大きな音が出た場合、聴力障害などを引き起こす原因となることがあります。</p>
 禁止	<p>不安定な場所に置かない。 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落下した際に思わぬケガの原因となることがあります。設置場所、取付け場所の強度も十分に確認してください。</p> <p>電源コードを熱器具に近づけない。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となります。</p> <p>使用中に電源コードを抜かない。 電源を入れた状態で電源プラグをコンセントから抜かないでください。本機の故障の原因となるばかりでなく、ご使用の機器、システムの故障・破損の原因となることがあります。また電源ノイズの影響によってスピーカーから大きな音が出た場合、聴力障害などを引き起こす原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。</p> <p>接続コードは安全な場所に配置する。 電源コードやオーディオケーブル類を足に引っ掛けると、機器の落下や転倒などによりケガの原因となることがあります。安全に配慮して、コード類を配置してください。</p> <p>カバーでおおうような状態で使用しない。 自然放熱を妨げる状態で使用すると、過熱して火災や感電の原因となることがあります。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 移動させる際は本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。さらに本機のコンセントに接続している各機器の電源プラグも外してください。外していないと、電源コードに足を引っ掛けるなど、思わぬケガなどの原因となることがあります。</p> <p>使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 使用後は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。また長期間使用しないときにも、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。</p> <p>お手入れの際は安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 電源プラグがコンセントに差し込んだままだと、感電の原因となることがあります。</p>

各部の名称と働き



1 電源 ON/OFF スイッチとパイロットランプ

背面のコンセント **A系統**、**B系統** の電源を入/切します。

電源スイッチを ON するとパイロットランプが点灯すると共に、まず **A系統** (ソース側) の機器の電源が入ります。その約 3 秒後に **B系統** (パワー側) の機器の電源が入ります。

電源スイッチを OFF すると、すぐに **B系統** (パワー側) の機器の電源が切れ、その約 6 秒後に **A系統** (ソース側) の機器の電源が切れます。

2 動作表示ランプ

STANDBY ランプ (赤) : スタンバイ状態のとき点灯します。

ON ランプ (緑) : 電源が入っているとき点灯します。

SOURCE EQUIPMENT のランプは **A系統** の動作を示します。

POWER AMPLIFIERS のランプは **B系統** の動作を示します。

3 **C系統** 電源 ON/OFF 非連動コンセント (2P タイプ・2個)

電源スイッチの ON/OFF に関係なく通電されていますので、時計を内蔵した電子機器 (例、BD/DVD レコーダー等) の電源接続に最適です。

前面のコンセントは、左の差し込み口 (長い方) がアース側です。

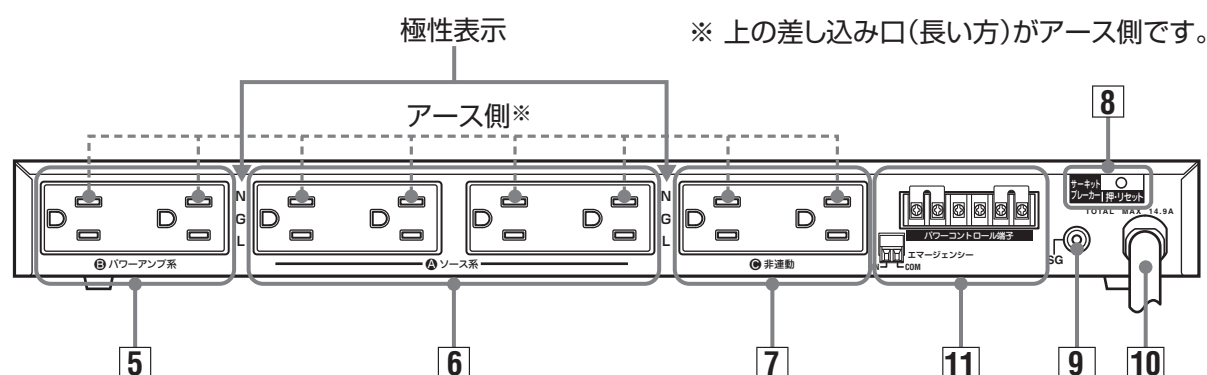
4 ラックマウント金具

EIA 19 インチ標準ラックへの取り付け金具です。棚やオーディオラックの幅に合わないときは、側面のネジを外して、金具を取り外してください。

他の機器と上下に並べてマウントする場合は、底面の足を取り外してください。

足の中央のピンをピンセットやドライバーの先などで引き抜くと外れます。

各部の名称と働き



5 B系統 パワーアンプ系コンセント (3P タイプ・2 個)

パワーアンプをつなぎます。上の差し込み口がアース側です。

6 A系統 ソース系コンセント (3P タイプ・4 個)

イコライザー、ミキサー、VTR などのソース / コントロール機器をつなぎます。

上の差し込み口がアース側です。

7 C系統 電源 ON/OFF 非連動コンセント (3P タイプ・2 個)

電源スイッチの ON/OFF に関係なく通電されていますので、時計を内蔵した電子機器 (例、BD/DVD レコーダー等) の電源接続に最適です。

後面のコンセントは、上の差し込み口 (長い方) がアース側です。

8 サークットブレーカー

本機の供給能力を超えた過電流が流れたとき、サーキットブレーカーが作動し、全ての電源が切れます。そのような場合は、過電流の原因を取り除き、ブレーカーの赤いボタンを押してリセットしてください。元の状態に戻ります。

9 SG 端子 (シグナル・グランド端子)

本機のコンセントに接続した機器の雑音低減専用のシグナルグランド (SG) 端子です。

安全アース端子としてのご使用はできません。

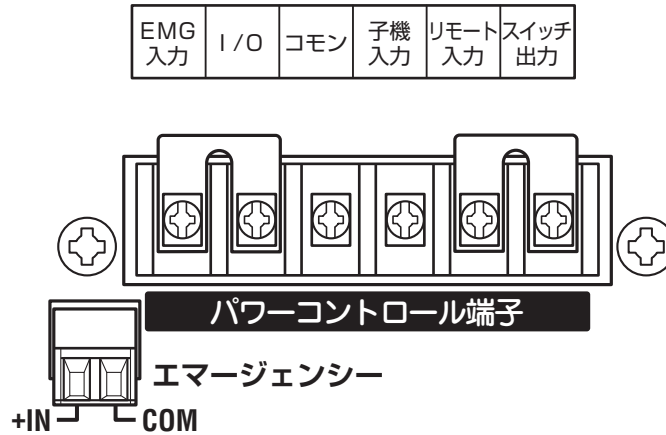
10 電源コード

本機の電源コード仕様は、アース接地極付きの 3 P タイプの電源プラグになっています。

アース接地極のない 2 P タイプのコンセントに電源接続する場合には、市販の変換プラグ (3 P → 2 P) をご使用ください。

各部の名称と働き

11 パワーコントロール端子



EMG 入力 / エマージェンシー (⇒ P.15 参照)

非常放送の伝達を妨げないように、本機につながれている機器の電源を切るためのコントロール信号を受ける端子です。この端子に 3 V から 30 V の電圧がきている場合は、通常の動作をしますが、非常時にこの電圧が切れると、**A系統**、**B系統** の電源を切ります。(非常時動作電圧：1 V 以下で電源 OFF)
この端子を使用しないときは、I/O 端子と接続しておきます。

I/O 端子 (⇒ P.14 参照)

制御信号の入出力端子です。本機の電源スイッチに連動して約 4.3 V が出力されます。
この信号をフォトカプラを介して取り出せば、システムコントローラなどで本機の電源スイッチの状態を認識することが出来ます。また EMG 入力とつないだままコモン端子とショートすると本機を OFF できます。

コモン端子

パワーコントロール端子に機器を接続するときは、その機器の“-”または“GND”側をここに接続します。

子機入力端子 (⇒ P.11, P.12 参照)

コモン端子とショートすると電源が入ります。本機を子機として使用するとき、親機のスイッチ出力端子と接続します。

リモート入力端子 (⇒ P.13 参照)

コモン端子とショートすると電源が入ります。
システムコントローラなどで、本機をリモートコントロールするとき、この端子に接続します。

スイッチ出力端子 (⇒ P.10, P.11, P.12 参照)

前面の電源スイッチを押すと、内部でコモン端子とショートします。通常リモート端子と接続しておきます。
リモート端子との接続を外すと、前面の電源スイッチで電源の入/切ができなくなります。
本機をスタック使用するとき、2 台目の子機入力 / リモート入力 / スイッチ出力端子と接続します。

接続

接続の前に

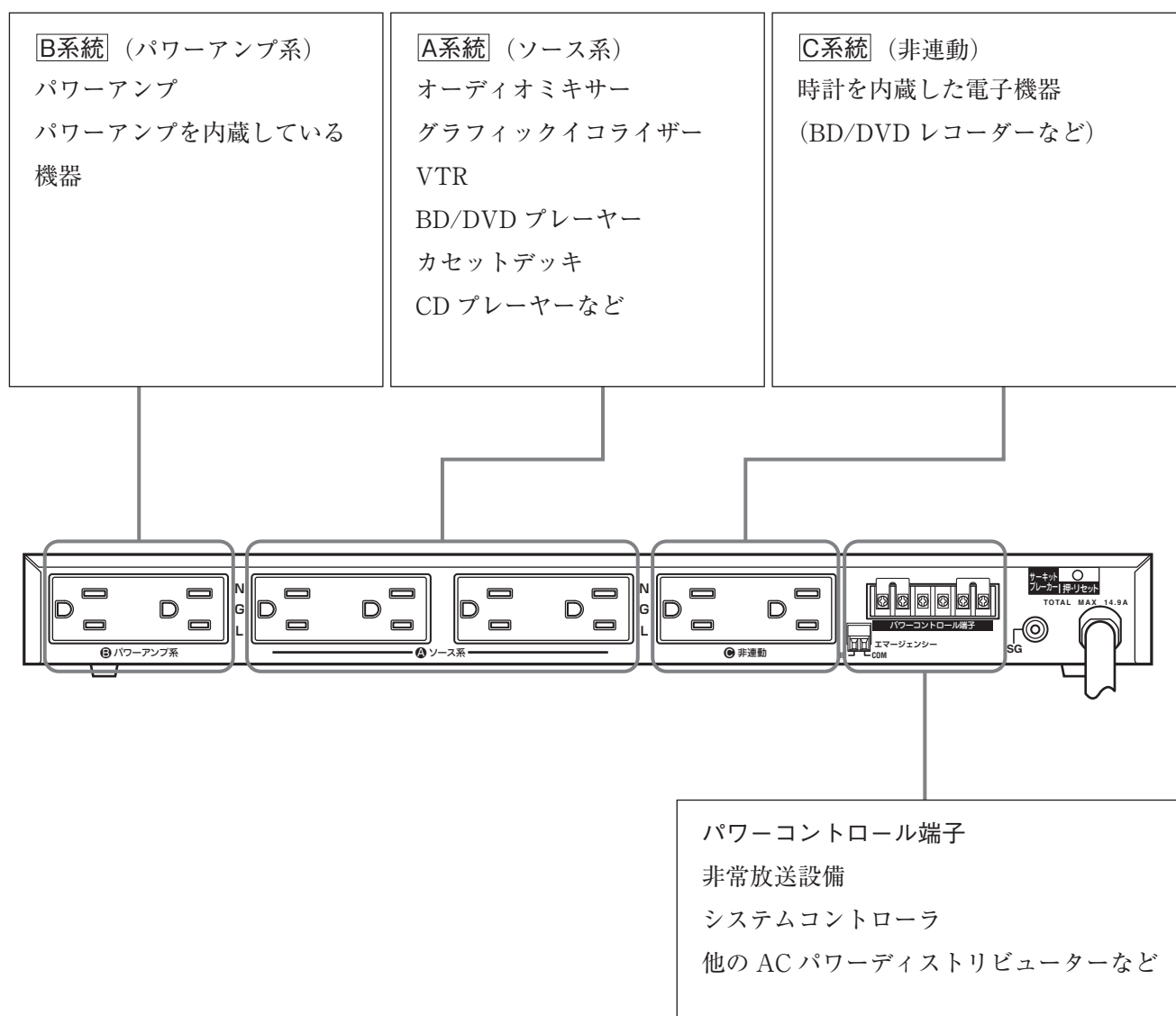
本機及び接続する機器の電源を切っておきます。各機器の電源コードを本機のコンセントにつないでから、本機の電源コードを壁のコンセントにつなぎます。

接続についてのご注意

- ・ コンセントへは確実に差し込んでください。
- ・ パワーコントロール端子の接続には、圧着端子をお使いください。
- ・ パワーコントロール端子に何も接続しないときは、パワーコントロール端子のショート金具を外さないでください。また、ゆるまないように注意してください。ショート金具が外れたり、ゆるんでいたりすると、誤動作の原因になることがあります。

使用例

本機の各コンセントや端子には、下記のような機器を接続できます。



接続

スタック使用するには

本機を10台まで接続してスタック使用できます。スタック使用には、3通りの使い方があります。

使用例 1

・ 2台以上接続して、どの本機からの電源スイッチ操作でも、全ての電源を入/切することができます。

使用例 2

・ 2台以上接続して1台を親機として、親機の電源スイッチの入/切で子機の電源も入/切することができます。また各子機でもそれぞれの電源を入/切することができます。

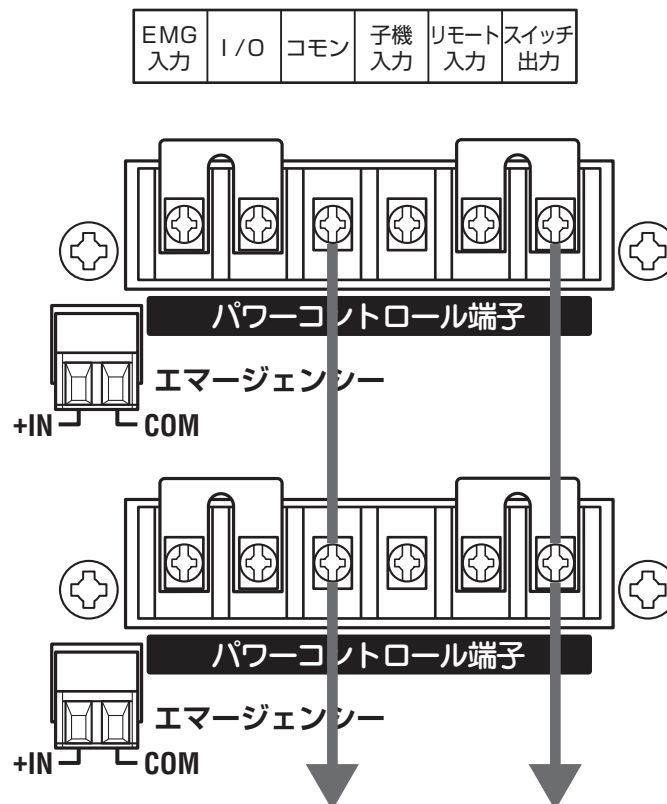
使用例 3

・ 2台以上接続して1台を親機として、親機でのみ電源の入/切することができます。

使用例 1

10台まで接続することができます。

それぞれのスイッチ出力端子とコモン端子同士を接続します。どの本機の電源スイッチを入/切しても全ての電源が入/切します。



接続

使用例 2

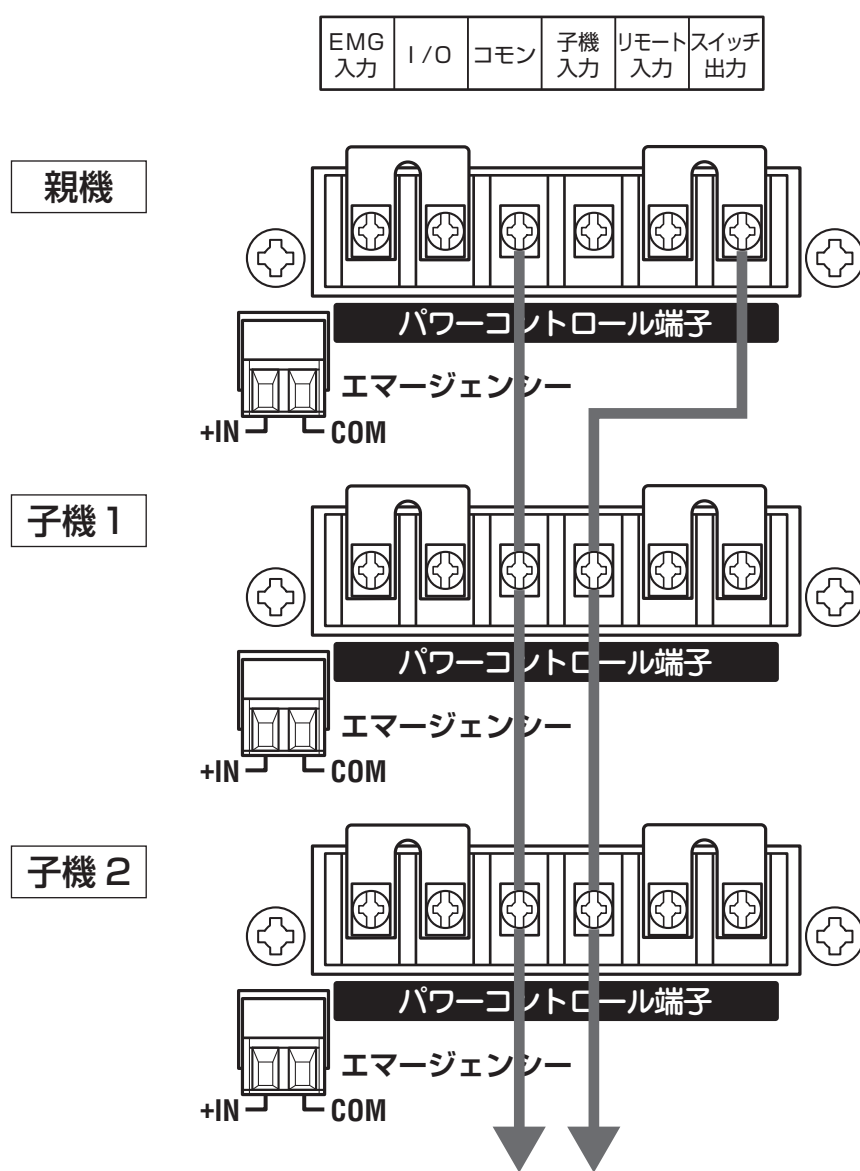
1台を親機として、他を子機として使用します。ただし、

- ・親機の電源を入/切すると子機の電源も入/切する。
- ・子機の電源を入/切すると子機の電源のみが入/切する場合の接続です。

10台まで接続することができます。

親機のスイッチ出力端子と子機の子機入力端子を接続します。子機を2台以上接続する場合は、子機同士の子機入力端子を接続します。

ショート金具は外さないでください。



接続

使用例 3

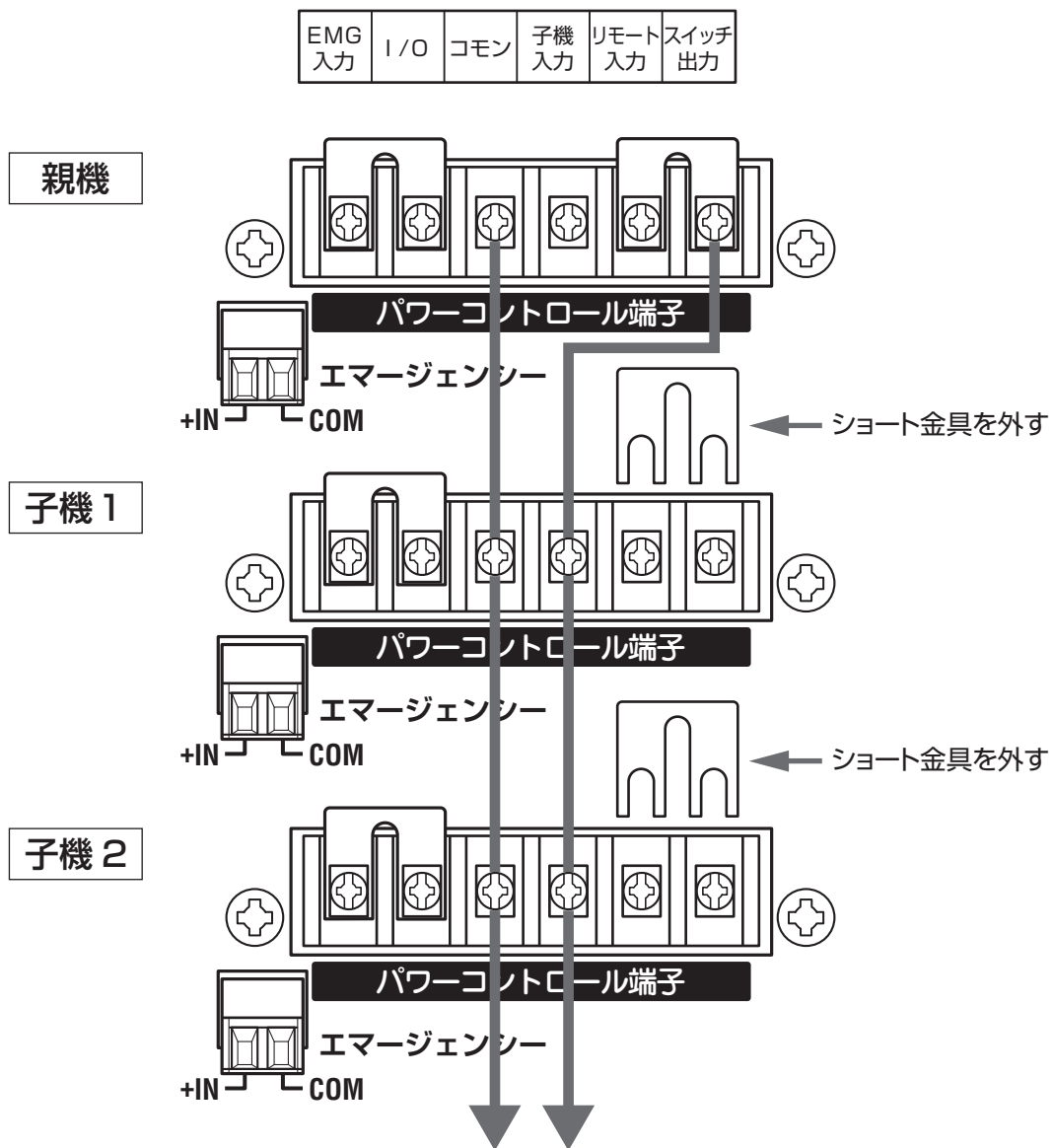
1台を親機として、他を子機として使用します。ただし、

- ・親機の電源を入/切すると子機の電源も入/切する。
- ・子機の電源スイッチでは動かない。

場合の接続です。10台まで接続することができます。

子機のリモート入力端子とスイッチ出力間のショート金具を外します。(親機のショート金具は外さないでください)

親機のスイッチ出力端子と子機の子機入力端子を接続します。子機を2台以上接続する場合は、子機同士の子機入力端子を接続します。

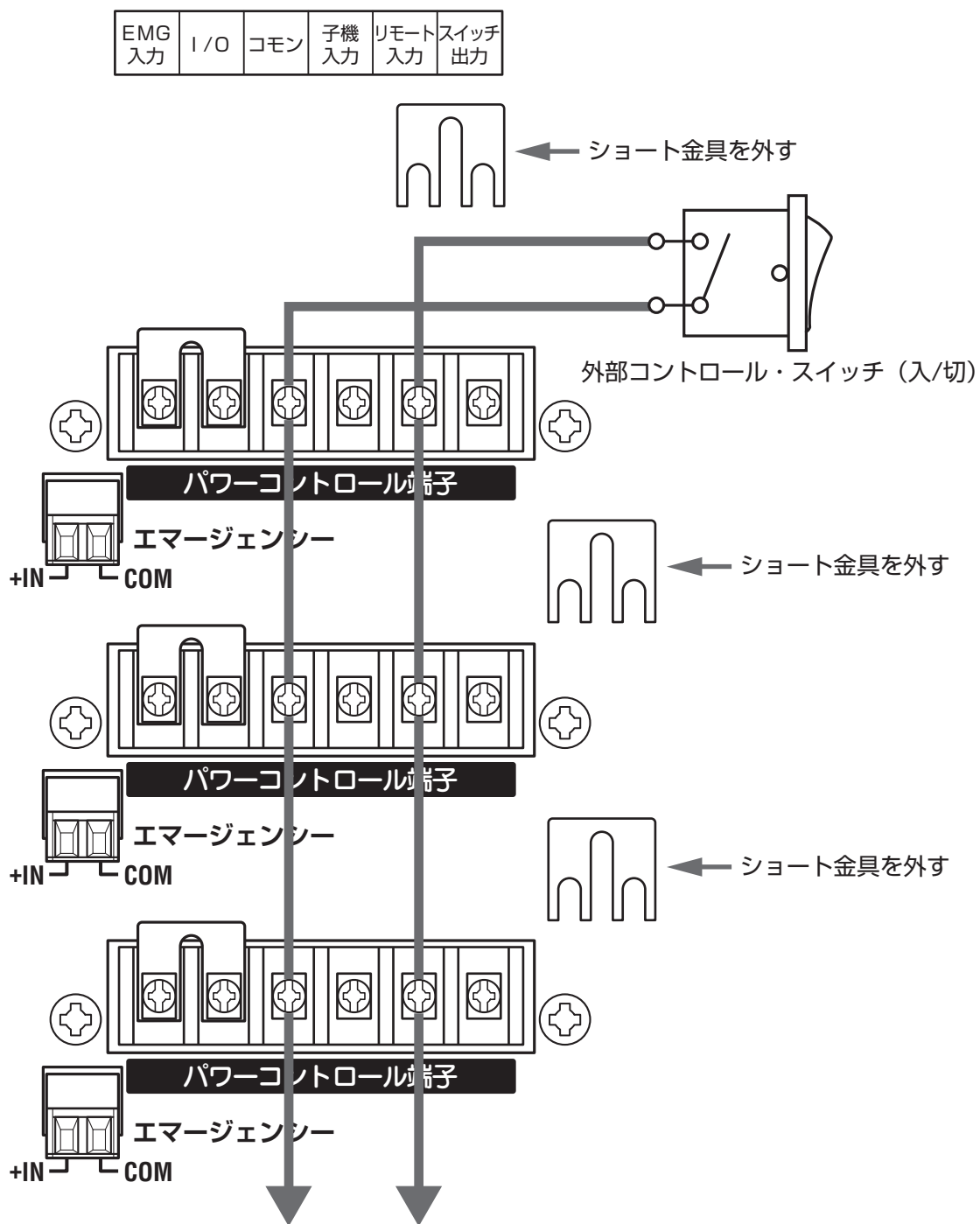


接続

離れた場所で電源を入 / 切するには

本機のコモン端子とリモート入力端子を接続します。接続したスイッチでコモン端子とリモート入力端子をショートすると、電源が入ります。

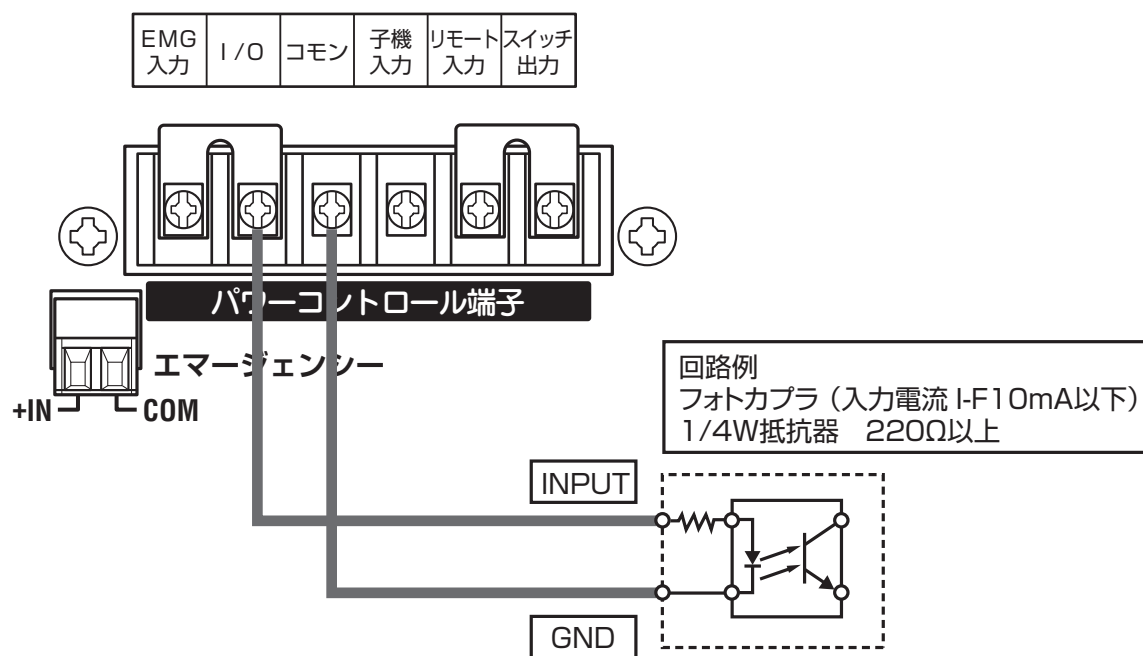
本機を複数（最大10台まで）、並列に接続すると、本機の電源スイッチに関係なく、**A系統** 及び、**B系統** に接続した全ての機器の電源を外部コントロール・スイッチより一括して入 / 切できるようになります。



接続

I/O 端子の使用例

本機の I/O 端子は、抵抗器を介してフォトカプラをドライブすることができます。(リレーはドライブできません。) リモートコントロール時など、本機の電源入/切をシステムコントロール側で認識したいときに使用できます。



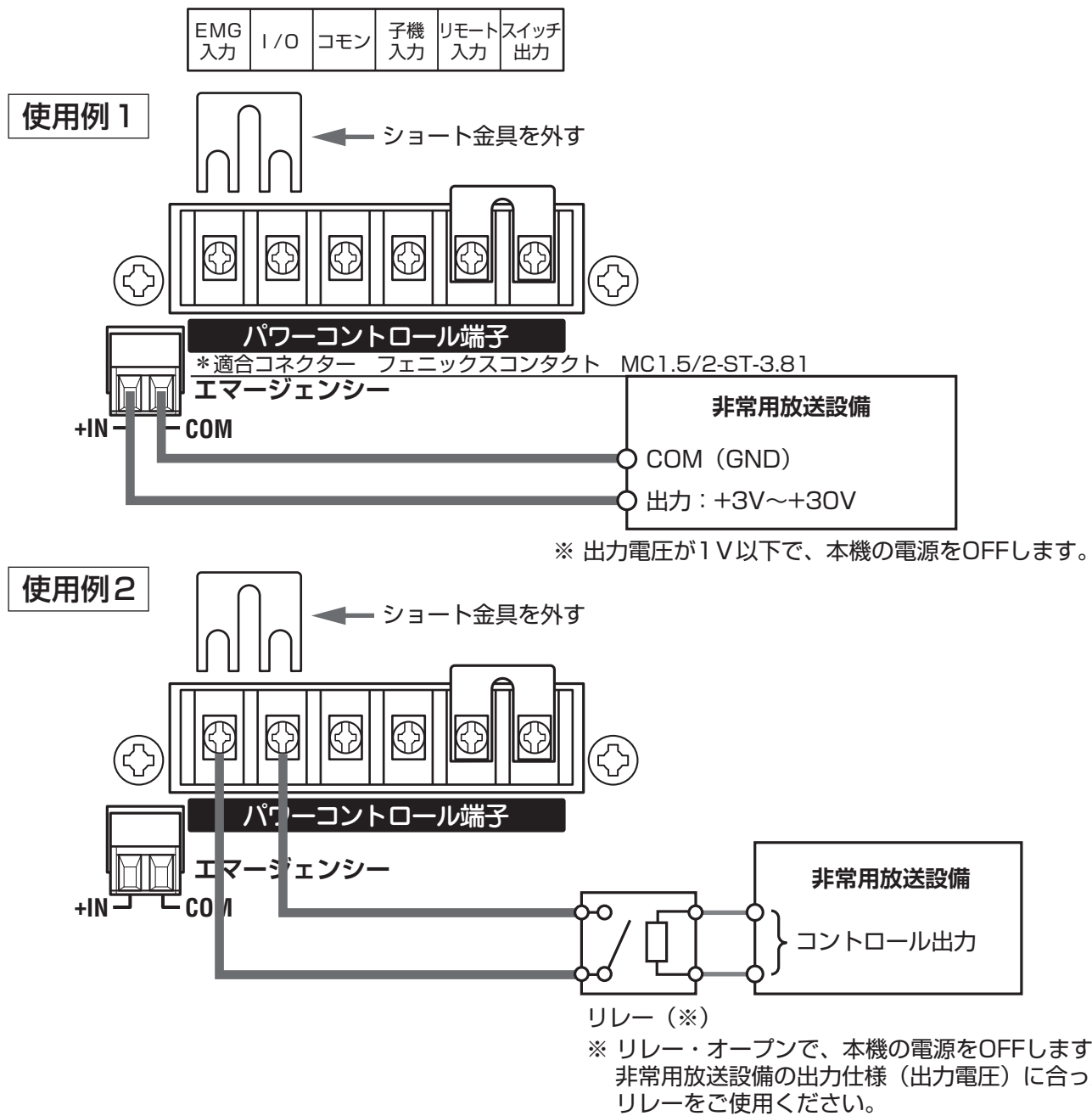
接続

非常用放送設備の接続例

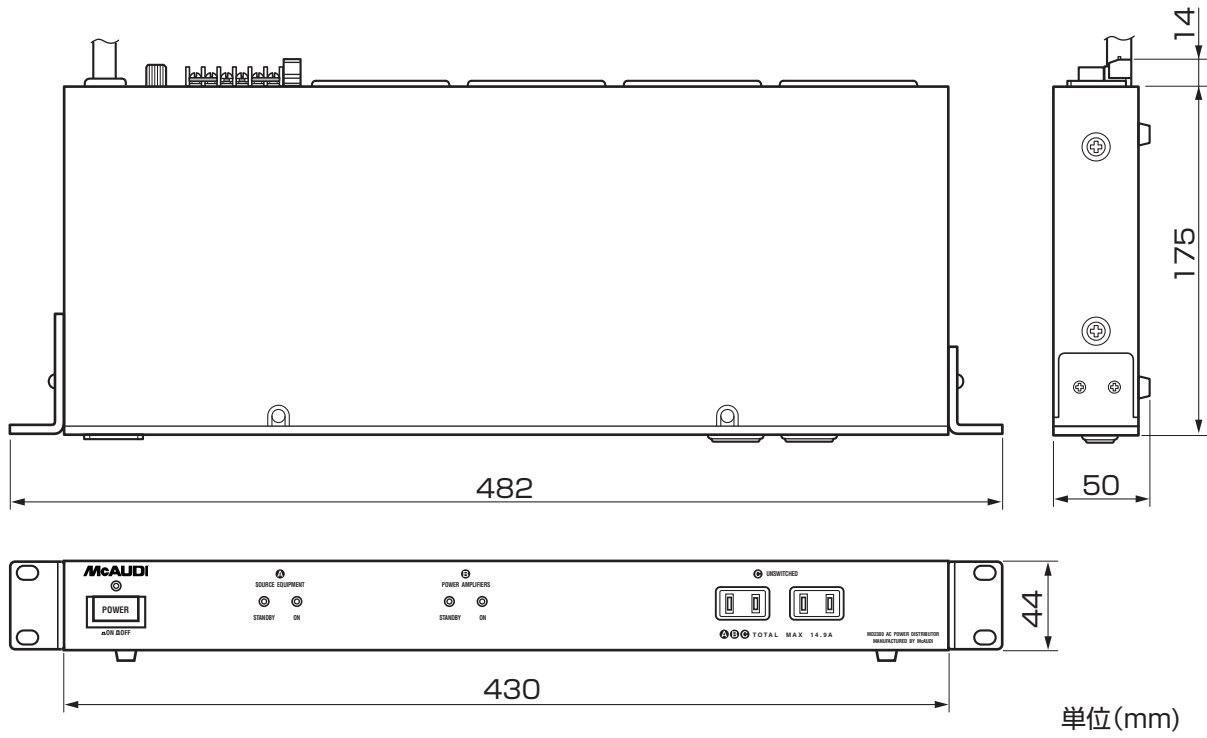
非常時に、非常用放送設備からのコントロール信号が切れると、**A系統**と**B系統**の電源を切り、非常放送の伝達を妨げません。

ご注意

非常用放送設備から、外部へ供給可能な信号を用いて本機をコントロールすることは出来ませんが、本機を非常用放送設備の一部とすることは出来ません。



外形图



单位 (mm)

主な仕様

電源電圧	AC100 V、50/60Hz
最大定格電流	A系統 + B系統 + C系統 の合計 14.9 A (最大定格電力 1490W)
ターンオン時間	A系統 約 0 秒 B系統 約 3 秒
ターンオフ時間	A系統 約 6 秒 B系統 約 0 秒
EMG 入力端子 / エマージェンシー入力端子 (AC OUT OFF 端子)	
	最大入力定格電圧 35 V
	入力電圧 通常時 3 V ~ 30 V
	非常時 1.0 V 以下
	通常入力電流 1 mA 以下
	* 適合コネクタ フェニックスコンタクト MC1.5/2-ST-3.81
I / O 端子	
	最大入力定格電圧 35 V
	入力電圧 ON 時 3 V ~ 30 V
	OFF 時 1.0 V 以下
	通常入力電流 1 mA 以下
	出力電圧 ON 時 4.0 ~ 5.0 V
	OFF 時 0.4 V 以下
リモート入力端子	
	メーク接点入力
	ON 時許容残留電圧 2.0 V 以下
	ON 時電流 2.0 ~ 8 mA
	OFF 時端子電圧 3.5 V 以上
子機入力端子	
	メーク接点入力
	ON 時許容残留電圧 2.0 V 以下
	ON 時電流 2.0 ~ 8 mA
	OFF 時端子電圧 3.5 V 以上
スイッチ出力端子	スイッチ ON 時、コモン端子とショート スイッチ OFF 時、オープン
消費電力	10 W
外形寸法	430 × 44 × 175mm (幅 / 高さ / 奥行き、突起部含まず)
質量	本体 約 2.6 Kg
付属品	取扱説明書

本機の仕様及び概観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

アフターサービス 保証期間

この製品には保証書を付属しています。お買い上げの際に、販売店で所定事項を記入してお渡しします。

記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日より1年間とさせていただきます。

保証期間中の修理は、以下の保証規定に基づいて修理させていただきます。

また、保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- ◎ 機種名：MD2300
- ◎ 故障の状態：出来るだけ詳しく
- ◎ ご購入年月日

保証規定

1. 保証期間内に「取扱説明書」に従って本機を取り扱っていたにもかかわらず、不具合（故障、損傷など）が生じた場合には、無償で修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に無償修理をお受けになる場合には、製品と保証書（取扱説明書）をご提示の上、お買い上げ店、または弊社サービス係までご連絡ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - A) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、お買い上げの販売店名の記入がない場合、及び本書の字句を書き換えられた場合。
 - B) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または、不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - C) 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - D) 自然消耗による部品や付属品などの交換。
 - E) 出張修理を行う場合に要する実費。
4. この保証は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

ご注意

この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は弊社サービス係にお問い合わせください。

保証書

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の適正なご使用にも関わらず不具合（故障、損傷など）、保証書記載内容により無償で修理いたします。

本書をご提示の上、お買い上げ店、または弊社サービス係に修理をご依頼ください。

- ◎ ご販売店様へのお願い。 太枠内の所定事項を記入捺印の上必ずお客様へお渡しください。
- ◎ お客様へのお願い。 保証期間内に無償修理を受ける場合太枠内の記載が無いときには「領収書」または「納品書」などと本書を提示してください。

保証期間：お買上げ日から1年間	
機種名	MD2300
お客様	ご住所 〒 — 電話 — —
	ご氏名 様
お買上げ日	年 月 日
販売店	店名
	住所
	電話 電話 — — 印

製造元及び販売元

McAUDI[®]

株式会社 McAUDI

〒 243-0033 神奈川県厚木市温水 1950-1
TEL 046-223-1581 (代表) FAX 046-223-1582
E-mail : info@mcaudi.co.jp